

胆江地区衛生センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況
No.5 平成30年7月～平成30年8月
胆江地区衛生センター

350 トンクローラ

クレーン配置完了



左の写真は、350 トンクローラクレーン（手前）と120 トンクローラクレーン（奥）が作業中の写真です。

350 トンクローラクレーンは平成30年7月26日から7月29日にかけて運搬用トレーラー24台で組立資材を搬入し、胆江地区衛生センターの場内で組立を行いました。

350 トンクローラクレーンを使用してボイラー関連機器等を搬入していきます。

※ボイラーの3要件とは…

- ①火気、高温ガス又は電気を熱源とするもの。
- ②水又は熱媒を加熱して蒸気又は温水を作る装置であること。
- ③蒸気又は温水を他に供給する装置であること。

蒸気復水器棟基礎躯体施工状況



余熱利用設備棟コンクリート打設状況



焼却炉内階段式ストーカ（火格子）据付状況

階段式ストーカとは火格子を階段状に並べたものです。可動・固定の火格子を交互に配列し、可動する火格子が往復運動することで、ごみを攪拌しながら移送します。攪拌されることで、ごみと空気が効率よく接触し、安定的に焼却することができます。



空気圧縮機据付状況

空気圧縮機はごみ焼却施設の運転において、動力用及び計装用に使用する圧縮空気を供給するものです。

